

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp

<https://jhu-wing.main.jp/>

空の安全と JAL 争議の全面解決を支援する茨城の会

4月7日水戸駅南口宣伝



昨年12月16日に発足した「空の安全と JAL 争議の全面解決を支援する茨城の会」が主催する第一回宣伝行動が、4月7日正午から JR 水戸駅南口で行われました。

晴天に恵まれた桜満開の水戸駅前には人通りも多く、国府田喜久男共同代表の主催者挨拶に続き、4党派・民主団体代表9名が JAL 争議解決のためマイクを握りました。争議団からは地元在住1名を含め4人が参加し、それぞれの思いを熱く訴えました。

茨城県の各方面から参加した支援者の皆さんは皆笑顔で、2019年関東キャラバン以来の水戸駅前宣伝行動は大成功に終わりました。

その後の反省会では、次回へ向けて活発な意見交換や感想が述べられました。

開催にあたりご尽力いただいた多くの皆様に感謝いたします。

発言者の皆さま

寺門光次副幹事長（社民党）

高橋誠一郎県政策委員長（日本共産党）

増田利光八千代町議員（新社会党）

玉造順一県議員

入江赳史常総市議員

金沢壽（ユニオン平和、元全労協議長）

大津桂一茨城の会水戸地区本部長

田村武夫日本国民救援会茨城県本部会長

茨城労働組合総連合岡野一男事務局長

高松義雄茨城の会共同代表



水戸黄門像

発言から

- ・ 職場で社会でモノをいう人が否定され人権が奪われる今、労働者の立場で差別に反対する。
- ・ 今すぐ職場に戻せ。雇用が守られ安心して働いてこそ空の安全は守られる。
- ・ 12.22 本社前集会は支援者にも元気勇気を与えた。JAL 争議は終わったと思った JAL に一番のインパクトだった。
- ・ 労働者の労働条件が悪くては、争議解決なしでは安全は守られない。
- ・ 元ナショナルフラッグキャリアとして、不当解雇は日本の恥。
- ・ 県内の闘いを強化していく。全労働者の人権・社会正義・尊厳を守る闘い。
- ・ JAL は一流企業、不当解雇を 14 年も解決していないことが問題。ちゃんと組合と話し合うべき。

総括会議から

- ・ 顔の見える争議団であってほしい。
- ・ 組織の団結が重要、不動の信念「勝つまで止めない」
- ・ 政治力は必要。勝利を手繰り寄せる。
- ・ JAL 争議終了後は地元の労働運動の構築に繋がりたい。
- ・ JAL の企業理念は「社員全員の幸福追求」、14 年間も放置していることは理念からしてもおかしい。
- ・ 当事者・市民・政治が団結して闘う。
- ・ 新社長の初仕事は争議を解決すること。



★茨城の会は1月17・18・24日に下記への第1回政党・議員要請を行いました

自由民主党田所嘉徳衆議院議員	公明党県代表高崎進県議会議員
立憲民主党代表青山大人衆議院議員	中村喜四郎衆議院議員
小沼巧参議院議員	設楽詠美子幹事長県議会議員
国民民主党県代表浅野哲衆議院議員	日本共産党上野高志県委員長
社会民主党県連合代表井坂章ひたちなか市議会議員	
新社会党県委員長金子和雄つくば市議会議員	無所属堂込麻紀子参議院議員